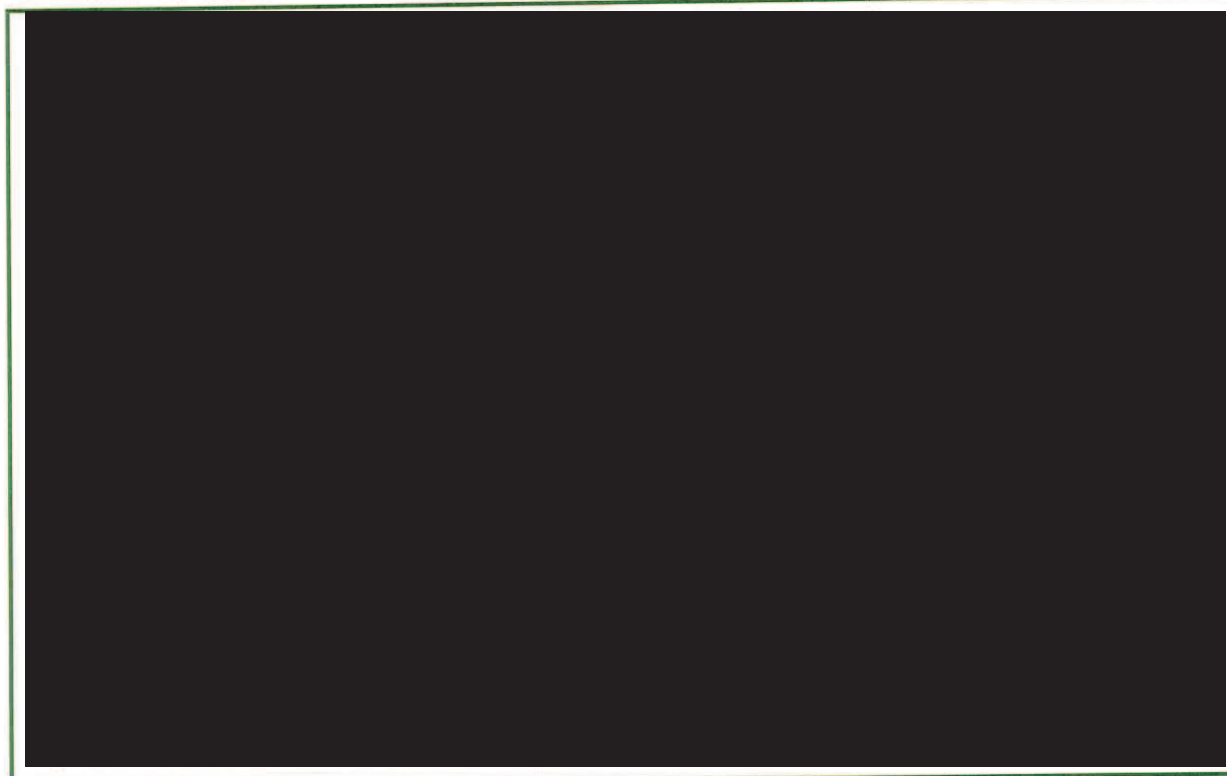


## 5 緊急時の指示系統・連絡体制及び対処方法

### ● 緊急時の連絡体制



#### ① 本社のサポート

大規模災害時は、本社内に災害対策本部を設置し、わたしたちの事業継続のため、対策を講じます。

また、サポート事業推進室内に図書館運営での危機管理を統括する部署を置いています。大規模災害時には、社内共有サイトにて各図書館の被災状況と対応策を集約し、発信します。被害の状況に合わせ人員と物資を配置し、速やかな現場復旧を支援します。

作業要員の配置	被災地外の受託館スタッフおよび本社スタッフの派遣
一時避難先確保	避難スタッフの受け入れ先の確保(ホテル等)
賃金補償	出勤困難スタッフへの賃金補償
見舞金の支給	家屋等被災スタッフへの見舞金の支給
物資支援	水・食料等災害用品の物資援助

#### ② スタッフの安否確認と現場の早期復旧

災害発生時の素早い初動による現場の早期復旧を実現するため、ALSOKが提供する安否確認システムを導入しています。

責任者や本社危機管理担当は、スタッフの安否を確認し、初動体制を組みます。サービスの早期復旧を目指します。

そのほかスタッフの緊急連絡先を責任者が把握し、不測の事態に備えています。



## 6 損害賠償等のリスク対応

## (1) 予防措置

図書館は、誰もが公平・平等に利用できる公の施設であり、市民の知る自由を保障する社会教育施設です。誰もが安心安全に図書館を利用できるように常に環境を整えておくことが重要であると考えます。わたしたちは、あらゆる利用場面を想定し、危機を未然に防ぎ、利用者、スタッフ、資料、施設を守ります。日常的に予防措置を行うことで、安心・安全な環境をつくります。

挨拶の励行	スタッフが利用者一人一人の存在を認識し、挨拶を行うことは、犯罪や不審行動に対する高い予防効果を発揮します。カウンターやフロアワーク中には、率先した挨拶を励行します。
危険個所の把握と早期復旧	定期的な施設巡回点検を行います。危険個所の早期発見に努め、改修が必要なケースでは、自治体との費用分担に従い、直ちに修繕します。
館内の整理整頓	避難経路の確保を常に意識し、館内の整理整頓を徹底します。カウンター付近に不要な物品を設置しないことで、利用者が声をかけやすい窓口とします。
施設巡回の実施	スタッフによる巡回を行います。施設構造上、カウンターからでは把握しきれない死角を把握します。不審火等の把握に努めるほか、設備・機器の稼働状況や外傷の有無を確認し、館内の保全に努めます。
サイン掲示による注意喚起	避難経路の周知や事故等の予防のため、サインを設置します。掲示物は必要最小限とし、統一したデザインとします。

## ● 計画・体制の整備

防災計画の策定	「飯塚市地域防災計画」・「飯塚市ハザードマップ」を把握します。防火管理者を選任します。消防計画を策定し、所轄消防署に提出します。
危機管理マニュアルの作成	本社サポート事業推進室に危機管理を統括する部署を設け、全国の事例をもとに「危機管理マニュアル」を作成しています。個々の危機について汎用的な対応スキームを定めています。これをもとに地域の特性や施設の構造を考慮し、飯塚市に対応したマニュアルを作成しています。
危機管理体制の整備	緊急時の指揮系統と連絡系統を定め、初動体制を整備します。飯塚市においては、近隣の受託館から必要に応じて人的支援を図れる体制をとります。

## (2) 保険加入

不測の事態に備えるため、各種の保険に加入しています。

賠償責任保険(施設)	図書館やスタッフが原因の事故に適用 治療費・通院費・慰謝料等に対応
賠償責任保険(全従業員)	スタッフが原因による事故に適用
賠償責任保険(情報漏えい) (個人情報保護含むサイバー保険)	サイバーインシデントや情報漏えいによって発生する損害賠償に適用(弊社が支出した情報漏えい対応費用も含む)
傷害保険(レクリエーション保険) (ボランティア保険)	イベント時の傷害保険 通院・入院日数に応じて、一定の金額を支払い 図書館で活動するボランティアに対して加入 第三者への賠償責任及び本人の傷害に対応
自動車保険	リース車両、自治体から貸与される車両に対する保険

## [自主事業実施計画]

### 1 年間の自主事業実施計画

#### 図書館事業のさらなる充実

これまで飯塚市立図書館において実施されてきた事業は、市内だけにとどまらず、筑豊エリア全体に浸透し、いまや地域に古くからある祭りのように自然なものとしての地位を獲得しつつあると考えています。

今後はこの既存事業を更に進化させ、発展させることにより、新規利用者の獲得を目指します。これまでの参加対象から更にその上の世代へと幅を拡げられるものについては、拡大して実施します。これまで参加して下さった方々もとりこぼすことなく、参加する側から実施する側に回ってもらうなど、工夫し、ともに行えるような方法を模索していきます。

わたしたちが実施する事業は図書館と地域の方々とで一体となり、あらゆる世代が交流できるものとして今後も発展させてまいります。

具体的な方針は以下の通りとなります。

#### (1)中学生に絵本の体験を～ブックスタートフォローアップ事業の追加～

わたしたちが指定管理者としてブックスタート事業を開始して15年目となりました。最初に絵本を手渡した子どもたちはもう中学校を卒業しようとしています。

これまでもさまざまなフォローアップ事業を行っていますが、あらたに中学校の家庭科授業の中でブックスタート事業の紹介と体験を提案します。

家庭科の学習指導要領に、幼児の生活や発達を知り、よりよいかかわり方について学ぶことが示されています。事業の紹介をし、絵本を介してコミュニケーションを取ることを実際に体験することにより、本の力、地域のつながりを学ぶ機会になります。

#### (2)市民向け講座充実～課題解決支援～

これまで郷土を学ぶ講座や農業支援講座を毎年実施してきましたが、それに加え、がん・健康情報講座、就労支援、消費者教育、金融教育、終活関連講座を毎年順に実施します。

ライフステージに合わせ様々な世代の市民に向けてニーズを捉え有益な情報を提供し、併せて関連の図書館資料を提示し、課題解決に導きます。

#### (3)他団体との協働～つながり強化～

わたしたちは受託開始以来様々な団体と良好な関係を築き、イベントを協同開催したりお互いに活動支援をする等してきました。これまで開催してきたサイエンスモール・ぶっくりモールを初め、ボランティア養成講座・交流会、他団体主催事業への参加を継続します。また、市役所各課の事業に合わせた図書館での特集展示・掲示などを積極的に行い、行政支援・市民への情報提供向上に努めます。

上記に記した事業をはじめ、飯塚市立図書館単独で行うもの、関連団体と連携して行うものと多岐にわたって実施予定です。詳細は事業実施計画書に記します。

## 2 アピールしたいところ

わたしたちは、飯塚市立図書館で3期15年にわたり運営の実績や地域との繋がりを築いていきました。飯塚市立図書館で働くスタッフは、「飯塚市」のまちづくりの一員であるという意識を持ち、「飯塚市立図書館があるからこのまちに住みつづけたい」と思われるような図書館づくりに努めます。

### ①豊富な実績と経験

図書館を運営していくために最も重要なのは、そこに携わる人の存在です。これまで数多くの図書館運営をしてきた実績から成る教育力・危機管理プログラムのもとに、人を育て続けます。

### ②地域との信頼関係

図書館を訪れる方々、イベントやおはなし会に参加してくれる方々、それに関わるボランティアの皆様との間には、長きにわたり築き上げてきた信頼関係があります。図書館だけにとどまらず、学校、企業、子育て支援センターとの協働事業を展開してきました。

### ③利用者ニーズの把握

利用者アンケートや、日々の窓口業務で耳にするご意見を真摯に受け止め、数々の要望に応じてきました。今期は資料の在架予約やWEB上での再貸出し手続きを皆様のご要望から実現しました。

### ④堅実な事業提案

事業計画書に挙げたとおり、これまで実施してきた事業については、見直しを図り、さらなる発展につなげていきます。図書館の活動に携わることによって、まちのすがたを知り、これからを考え、次の行動につながる事業提案を続けていきます。

## 3 管理運営に際しての問題点及びその解決方法（※再委託の範囲や委託先を明確にすること）

指定管理者として、管理運営を行うにあたって、施設そのものの維持管理も重要となります。必ずしも新しいとは言えない施設では、日常的に点検整備の必要があり、前述の通り、専門知識を必要とする業務が多くあります。下記を代表とする専門業務については、地元企業を中心に委託し、管理をします。

内容区分	大区分	予定内容	回数	法定点検
定期点検	電気設備	受変電設備点検(月次点検)	6回/1年	法定
	防災設備	消防設備定期点検(機器点検)	1回/1年	法定
	防災設備	消防設備定期点検(機器・総合点検)	1回/1年	法定
	空調設備	フロン簡易点検(契約外)	4回/1年	法定
	昇降機設備	エレベーター定期検査	1回/1年	法定
	建築内部	自動ドア点検	2回/1年	
	衛生設備	浄化槽保守点検	2回/1月	法定
	衛生設備	汚泥抜取	2回/1年	法定
	衛生設備	浄化槽水質検査	3回/1年	法定
	衛生設備	浄化槽法定検査	1回/1年	法定
清掃	清掃	日常清掃	1回/開館日	
植栽	植栽	剪定・施肥等	1回/1年	
警備	警備(防犯)	機械警備	常時監視	
巡回点検	設備	設備巡回点検	6回/1年	

## ※ その他

## (1)図書館を使った調べる学習コンクールの拡充

わたしたちは平成30年度から図書館を使った調べる学習コンクール（地域コンクール）を実施してきました。

今年が5回目の開催ですが、これまで小学生を対象とし、図書館で行うサポート教室や学校に出張して行う出前教室を重層的に実施してきました。応募作品の質も年々向上し優秀作品は全国コンクールに推薦しています。今後は中学生部門を創設し、これまでに培った調べる学習のスキルを継続発展させるお手伝いをします。将来的には大人部門の創設も目指します。

それぞれが持つ知りたい欲求を満たし、調べて分かったことや自分の意見を伝えることは学校でも行われるようになりましたが、いつでもいつまでも取り組める生涯学習のひとつでもあります。わたしたちはレファレンスを通してそれを支援することにより、図書館をより身近に生活の一部として活用してもらいたいと思っています。



令和2年度には、図書館を使った調べる学習の普及のために、優れた推進活動を行った地域コンクール主催団体として飯塚市立図書館が全国コンクールで表彰されました。




## (2)ぼたぼんの活躍

わたしたちの作った図書館マスコットキャラクター「ぼたぼん」は今や飯塚市を象徴する存在になりつつあります。


飯塚市のさまざまなお知らせに登場するぼたぼんは、登場の場面に合わせ、手に関係するものを持っていますが、市のホームページに登場するチャットボットぼたぼんは手に本を持っています。

「どうして本を持っているんだろう」「ぼたぼんって図書館のキャラクターなんだ!」ということをきっかけに、飯塚市立図書館の存在を内外の人に知ってもらいたいと思っています。






事業実施計画書(令和5年度～9年度)

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
子育て支援講座	<p>健やかな子育てに役立つ情報の提供を行い、図書館利用を促す。 子育て支援センターと協働で講座を実施する。</p> <p>・タッチケア、カラーセラピー、音楽あそび、食育など</p>	<p>全館 1回/年 以上</p> 
ブックスタート事業	<p>赤ちゃんに絵本を開く楽しさを体験してもらおうとともに、絵本を介した親子の時間を提案する。 ブックスタートパックの準備、選書、パック手渡し</p>	<p>全館通年</p> 
ブックスタート フォローアップ事業	<p>ブックスタート実施後、活動の周知を図るとともに、継続して親子の読書活動を推進する。</p> <p>①幼児向けおはなし会 ②就学前施設への団体貸出、絵本セット選書・貸出 ③赤ちゃん向け絵本パック貸出 ④子育て支援センターとの協働 ⑤中学校家庭科授業でのブックスタート事業紹介と体験</p>	<p>①全館 0.1.2歳向け 1回/月 ②飯塚 団体 3回/年 特別貸出 2回/年 ③庄内、穂波 通年 ④制作講座 2回/年 0.1.2歳向けおはなし会(相談) 4回/年 ⑤9月～12月頃 1回/年以上</p>
子ども向け 利用促進事業	<p>読書のきっかけを作り、本の楽しさを実感することにより、図書館利用を促す。</p> <p>①子ども読書クイズ大会 ②子ども読書スタンプラリー</p>	 <p>①、②全館 約1ヶ月間 1回/年ずつ</p>

事業実施計画書(令和5年度～9年度)





事業名	目的・内容等	実施時期・回数
市民向け講座	<p>地域の課題解決支援と、図書館利用促進を目的として市民一般向け講座を企画実施する。</p> <p>①郷土学講座 ②農業関連講座</p> <p>がん・健康情報講座、就労支援、消費者教育、金融教育、終活、関連講座</p>	<p>①、②、飯塚、ちくほ 1回/年</p> <p>令和5年 がん健康情報講座 令和6年 就労支援講座 令和7年 金融教育講座 令和8年 消費者教育講座 令和9年 終活関連講座 各講座 1回/年</p>
図書館を使った調べる学習コンクール事業	<p>①サポート教室 ②飯塚市図書館を使った調べる学習コンクール(地域コンクール・小学生・中学生・大人部門) ③出前授業(市内小学校4~5年、中学生対象) ④歴史資料館出前講座</p>	<p>①7月～8月 各館全2回講座 ②地域コンクール会場 飯塚 ③ 5月～6月頃各館1回以上 ④1回/年</p>
サイエンスモール	<p>子どもたちに科学への興味を持たせ、科学を身近に感じ将来にわたって科学に関心を持ち課題解決につなげる環境作りを目的とした体験型科学イベント。</p> <p>市内外の協力団体(大学・高校・中学校、企業・商店街、自治体職員等)と協力し、筑豊地域を科学で盛り上げる。</p> <p>期間中、科学読物を取り入れた定例読み聞かせ、特集展示を行う</p>	<p>体験型科学イベント 1回/年</p> <p>読み聞かせ、 特集展示は開催月内中</p>
商店街・街のイベントとの連携事業	<p>司書として培ってきた専門知識のノウハウを市民へ伝え、図書館と読書活動への興味関心を高めてもらう。</p> <p>①得する街のゼミナール ②ぶっくりモールin飯塚 ③いいづか街道まつり</p>	 <p>① 6,10月 2回/年 ② 11月 1回/年 ③ 10月 1回/年</p>

事業実施計画書(令和5年度～9年度)

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ボランティア交流・ スキルアップ事業	図書館事業に関わるボランティア 同士の情報交換・交流とスキル アップを目的として、会議や講座 を行う 	ボランティア交流会 全館ボランティア対象 4回/年 スキルアップ講座 全館ボランティア対象 1回/年
読書・図書館 利用支援事業	読書することに障がいを感じてい る人に向けて環境を整備する  ・やさしい日本語での 利用案内作成 ・LLブックの充実  ①バリアフリー映画上映会 ②福祉のつどい参加 ③見やすい館内サイン作成 ④スタッフ手話講習の受講	随時 ① 9月～3月頃 1回/年 ② 10月頃 1回/年  
他団体主催事業への 参加	他団体主催の事業に参加すること により地域に貢献し、図書館の価 値をアピールするとともに、図書 館利用の促進につなげる。  ①福祉のつどい ②エコスタいいづか ③コミセンまつり など	 ①、②、③年1回
広報	ホームページのデザイン・内容を 充実させる SNSを利用した事業・活動の広 報を行い、すべての世代に確実に 情報を届ける工夫をする  	全館 随時  



事業実施計画書(令和5年度～9年度)

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
特集展示	<p>季節性、時事性のある資料と情報を展示することによって図書館への興味を持ってもらうと同時に社会、行政課題に対する関心を高める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境、食育、児童虐待防止推進月間、世界アルツハイマーデー、飯塚市の祭り、行事等、連動して展示、情報発信を行う。</li> </ul>	<p>全館 毎月1回入替え</p> 
図書館まつり	<p>図書館事業写真・関連団体の作品展示やおはなし会などを行うことによって利用者への感謝の意を表しつつ、図書館及び関連団体への理解を深め、読書に対する興味、関心を高める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リサイクル市、スペシャルおはなし会、ワークショップ、ボランティア作品展示、スタンプラリー等</li> </ul>	 <p>全館 1回/年 各館ごとに実施時期は異なる</p>
季節の行事・制作教室	<p>季節や年中行事をテーマに、ボランティアサークルによる絵本等の読み聞かせなどを行い、実際に年中行事を体験できるプログラムを提供する。</p> <p>①七夕、クリスマス、お正月など、美しい四季や伝統を感じられる館内装飾の掲示 ②工作教室 こまづくり、七夕飾り作り、伝承折り紙、クリスマスオーナメント製作など</p>	 <p>①②随時</p>
見学・受け入れ・体験事業	<p>実際に働く様子を見る、体験することによって社会生活に必要な知識や技術への関心を高める</p> <p>①一日図書館職員体験 ②小・中学生向け職業体験 社会見学、インターンシップ受け入れ ③選書体験会の開催</p>	 <p>①7月～8月 1回/年 ②, ③随時 1回2～3名 社会見学、インターンシップは随時</p>

## 収 支 予 算 書 (令和5年度～9年度)

効果的・効率的な運営を行い、適切な収支管理を行います。令和5年度から令和9年度まで同様の収支見込となります。人件費上昇等はその他（本社管理費等）で調整します。

(単位:千円)

科目		予算額	備考(内訳・内容等)	
収 入	市からの委託料	119,988		
	利用料金	100	コピー料収入	
	その他	160	カード再発行手数料・弁償代収入等	
収入合計 (A)		120,248		
支 出	人 件 費	常勤職員給与		
		非常勤職員給与		
		賞与		
		法定福利費		
		福利厚生費		
		その他		
	人件費計 ①		72,050	
	事 業 費	旅費交通費		
		消耗品費		
		事務用品費		
		新聞等購入費		
		会議費		
		ブックスタート費		
		雑費		
		事業費計 ②		8,200
	管 理 費	水道光熱費		
		ガソリン代		
		修繕費		
		電話料金		
		インターネット利用料		
通信費その他				
保険料				
備品リース料				
車両リース料				
賃借料				
支払手数料				
諸会費				
建物管理業務				
システム保守費				
広告宣伝費				
車両維持費				
書誌データ費				
その他				
租税公課				
管理費計 ③		39,998		
支出合計(①+②+③) (B)		120,248		
収支 (A)-(B)		0		

※1 1年間(12ヶ月)の収支を記入してください。

※2 内訳項目が足りない場合は、適宜追加し、備考欄に内容等を記入してください。

※3 年度ごとに作成してください(指定申請期間の毎年度の収支見込が同じであれば、1枚の提出で可)。